

愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖あるいは病理診断を受けた患者さんのご家族へ

愛知医科大学加齢医科学研究所では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され承認された研究です。

この研究では、神経疾患などで亡くなられた患者さんの病理診断とともに病理組織を愛知医科大学加齢医科学研究所神経疾患ブレインリソースセンター（以下「AKBRC」と略す）に登録して、遺伝子や蛋白の解析を含む研究を行い、病気の原因解明や治療法開発の基礎研究資料の構築をすすめることが目的です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	神経疾患ブレインリソースセンターの構築および神経疾患の病理学的、遺伝子学的研究
研究責任者	加齢医科学研究所 特命研究教授 吉田眞理
研究の意義と目的	本研究の目的は、ご遺族の同意を得て病理解剖された脳組織（アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、プリオン病などの神経疾患、および正常脳など）の病理診断と保存取集を行い、必要に応じて凍結脳組織やパラフィン切片から、遺伝子あるいは蛋白の解析により各疾患に影響を及ぼす遺伝的要因や蛋白の候補を明らかにし、病理診断、遺伝子情報、分子生物学的情報などを含む質の高い基礎研究試料のセンターとしての「AKBRC」を設立します。これは、難治性で有効な治療法の少ない神経疾患の原因解明と治療法開発のための基礎研究を推進援助し、現在同じような疾患で苦しんでいる患者さんにご家族に最終的に貢献できると考えています。
対象となる方	1993年以降に愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖あるいは神経病理学的診断を受けた患者さんとその親族の方。
研究の方法	パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病などの様々な神経疾患の病理診断を受けた患者さんの、病気の原因を究明し、治療法を開発するために遺伝子や蛋白の解析を行います。
研究期間	2020年4月1日～2025年3月31日
個人情報の取り扱い	試料の解析や研究に関しては、お名前、生年月日、などの個人を特定できる個人情報は符号化して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は使用しません。また試料や情報は施錠される部屋で管理され、コンピュータの情報も第三者がアクセスできない様に厳重に管理されています。 「AKBRC」への登録と研究への利用を拒否される親族の方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。拒否されても何ら不利益をうけることはありません。
問い合わせ先	愛知医科大学加齢医科学研究所 研究責任者：吉田眞理 電話 0561-62-3311（内12091） E-mail:kareiken@aichi-med-u.ac.jp